

死を決意する少年 大人たちの葛藤

NHK名古屋放送局は終戦特集ドラマ「15歳の志願兵」を制作、五年目の終戦記念日である八月十五日午後九時から放送する。旧制愛知一中（現在の旭丘高校）での実話をもとに、国のために死を決意した少年たちの姿が初めてドラマ化される。

NHK名古屋・終戦特集 15歳の志願兵

科練習生（右下メモ参考）の志願者を割り当てた。愛知一中に割り当てられたのは四十七人。同年七月五日、校内の決起集会で、全校生徒七百人全員が次々に志願を誓った。全国屈指の進学校の生徒たちの決断は大きく報道され、全国の少年たちの心を動かしていく。この集会に参加して

いた元高校教師、江藤

市中区の愛知県図書館に通い、郷土資料コーナーでこの本をみつけた。「旧制中学の生徒たちが軍に志願する経緯を知り新鮮な驚きを感じた」という。原作をベースに、当時の関係者の取材から得た証言などを加え、ドラマに厚みを持たせた。戦

埋もれた戦史に光

太平洋戦争末期の一九四三（昭和18）年、海軍は航空兵の不足を解消するため、全国の旧制中学に甲種飛行予

（山崎美穂）

千秋さん（二〇〇三年死去）が、当時の様子を記録しようと、証言と資料を集め一冊の本「積乱雲の彼方に—愛知一中予科練総決起事件の記録」にまとめ、八年に出版された。

○七年から毎年、終戦特集ドラマを作り続

けている名古屋放送局の磯智明プロデューサーは「過去の三作品は地元を舞台にしたものでなく、今回はぜひ地

元を舞台にしたドラマを作りたいと思っていました」という。

川野秀昭ディレクターが二ヶ月間、名古屋

で、愛知県瀬戸市中村ントラルタウン国際センターラジオ局（23日）に登場する。愛知県瀬戸市中村ントラルタウン国際センターラジオ局（23日）に登場する。

磯智明プロデューサーは「少年たちの夢や友情が戦争によって押しつぶされる一方で、子どもを戦場に送らざるを得なかつた大人たちの葛藤を描くことで、現代に生きる人々にメッセージを残したい」と話す。

池松壮亮、高橋克典、太賀、竜雷太らが出演。撮影は七月中旬まで名古屋市、愛知県犬山市、常滑市などで行われる。

8月15日に放送

愛知一中の三年、正美（池松）は端艇（ボート）部の親友、光男（太賀）と将来の夢を語り合う仲だつた。海軍は飛行予科練習生の志願者を愛知一中に割り当て、校長に生徒への指導強化を命じる。戦争に対し冷静だった正美と

あらすじ

光男だったが、全校生徒が参加した集会で、次々と志願を宣伝する仲間に影響を受けて追従してしまう。同校の教師だった正美の父・順一（高橋）は戦争に賛成ではなくたが、それを口にすることはできなかつた。

甲種飛行予科練習生1930（昭和5）年、海軍飛行予科練習生制度が発足。高等小学校修了以上で満14歳以上20歳未満の少年を飛行兵として採用した。37（昭和12）年、航空戦力増強のため大量養成が必要となり、従来の飛行兵を乙種飛行予科練習生と称し、あらたに甲種飛行予科練習生として旧制中学高学年以上の学力を有する志願者（満15歳以上20歳未満）を採用した。

地区の受信するための古屋市中村ントラルタウン国際センターラジオ局（23日）に登場する。

テレビ愛上デジタル社長は定例開局する予定。

甲種飛行予科練習生1930（昭和5）年、海軍飛行予科練習生制度が発足。高等小学校修了以上で満14歳以上20歳未満の少年を飛行兵として採用した。37（昭和12）年、航空戦力増強のため大量養成が必要となり、従来の飛行兵を乙種飛行予科練習生と称し、あらたに甲種飛行予科練習生として旧制中学高学年以上の学力を有する志願者（満15歳以上20歳未満）を採用した。

地区の受信するための古屋市中村ントラルタウン国際センターラジオ局（23日）に登場する。

テレビ愛上デジタル社長は定例開局する予定。

甲種飛行予科練習生1930（昭和5）年、海軍飛行予科練習生制度が発足。高等小学校修了以上で満14歳以上20歳未満の少年を飛行兵として採用した。37（昭和12）年、航空戦力増強のため大量養成が必要となり、従来の飛行兵を乙種飛行予科練習生と称し、あらたに甲種飛行予科練習生として旧制中学高学年以上の学力を有する志願者（満15歳以上20歳未満）を採用した。